

刈谷のまちを良くしたい！そんなときには。

交流したり、アイデアをもらいたい

さまざまな交流イベントを開催しています。
交流やスキルアップの場で、同じ志を持つ仲間を見つけたり、活動のヒントを見つけることもあります。お気軽にご参加ください。

- ☆ わがまちのつむぎ場(市民や市民活動団体の交流会／市民協働課)
 - ☆ わがまちのしゃべり場(共存・協働のまちづくり／市民協働課)
 - ☆ つなぎの学び舎(地域コーディネーターの育成／市民協働課)
 - ☆ 車座集会(テーマを設けての市民交流／支援センター)
 - ☆ スキルアップ講座(市民活動団体のスキルアップ／支援センター)
- etc...



協働やイベント運営について相談したい

「かりや夢ファンド」や助成金について、協働の相手探しやプロジェクトの運営について、お気軽にご相談ください。



刈谷市役所 市民協働課
刈谷市東陽町1丁目1番地
電話:0566-95-0002
FAX:0566-27-9652
E-mail:kyodo@city.kariya.lg.jp



刈谷市民ボランティア活動支援センター
(指定管理者:特定非営利活動法人NPO愛知ネット)
刈谷市寿町1丁目409番地
電話:0566-62-8231 FAX:0566-62-8232
E-mail:kcv109box@katch.ne.jp

発行責任 刈谷市役所 市民協働課 編集 刈谷市役所 市民協働課 刈谷市民ボランティア活動支援センター

「刈谷市協働事例集 ぼらっちゃんのこらぼレポ vol.2」は、刈谷市と市民ボランティア活動支援センター指定管理者との協働で作成されました。(2012年1月4日発行)

ぼらっちゃんの
こらぼレポ
Collaboration Report

—刈谷市制60周年記念「コラボ60」特集号

刈谷で活躍するさまざまな団体の協働事例を取りあげ、わかりやすくパターン化し、協働のモデルとして紹介しています。刈谷のまちをよくするための“はじめての一步”を踏み出そう！

Contents

- ▶ 市民協働ってなあに?02
- ▶ 「コラボ60」ってなあに?03
- ▶ こらぼレポ事例集:①~⑥04~09
- ▶ かりや夢ファンドのお話10
- ▶ ファンドの使い道のお話11
- ▶ 刈谷のまちを良くしたい!そんなときには。12

市民協働ってなあに？



同じ目標を達成しようとする自治会や市民活動団体、企業、行政などが手を組み、それぞれの特長を活かしながら、まちの課題解決に取り組むことです。

まちづくりに関わる市民や組織が、お互いの強みを活かしながら、まちづくりに一緒に取り組むことで、大きな成果につながります。

まちづくりのポイント

刈谷市共存・協働のまちづくり推進条例

刈谷市では、2009年に「刈谷市共存・協働のまちづくり推進条例」が制定されました。条例には、市民協働によるまちづくりの大切なポイントが書かれています。

誰もが暮らしやすいまちにするには、市民一人ひとりがまちの課題を自分ごととし、自発的に取り組むこと、市民の様々な知恵や力をいかし合い、市民同士がつながりあいやすい環境をつくることをすすめていく必要があります。

ここでいう市民とは、市内在住・在勤・在学の人だけでなく、地域団体、市民活動団体、事業者（企業、商店など）、教育機関等（学校や病院など）、市役所も含まれ、まちづくりをおこなう主体として位置づけられています。

※現在、市民の構成からなる「共存・協働のまちづくり推進委員会」が置かれ、共存・協働のまちづくりに関わる事業の協議や推進をおこなっています。



協働のコツ

刈谷市共存・協働のまちづくり推進条例

そして、条例には、いろいろな団体と協働する際のコツも書かれています。

- 1 主体的・自立的・自発的に考え、行動する
- 2 対話、理解、共感を大切にし、信頼関係を構築する
- 3 互いの存在、個性、文化を理解し、尊重する
- 4 互いの強みをいかし合うとともに、弱みを補い合う
- 5 互いが納得し、共有できる目標を立てる
- 6 まちづくりに貢献できる存在となるよう、成長及び改善に努める

かりや夢ファンドの使い道のお話



「かりや夢ファンド」は次の3つの補助金に使われます。

NPO法人設立支援

かりや夢ファンド

NPO法人の認証取得・設立をめざす団体に対し、刈谷のまちづくりの新たな担い手として活躍できるよう、NPO法人の運営基盤整備の経費を支援します。NPO法人化への立ち上げ準備の支援制度です。

まちづくり活動支援

かりや夢ファンド

刈谷の地域文化、人材など地域資源の活用を図り、共存・協働のまちづくりを推進する活動に対し、活動経費を支援します。活動中の市民活動団体さん向けの支援制度です。

【公募の時期】 「NPO法人設立支援」「まちづくり活動支援」は、毎年10月～11月上旬にて次年度実施事業の補助金の募集をおこないます。

【審査方法】 申請書類を提出後、市民が参加できる「公開審査会」をおこないます（12月上旬）。審査会にて、プレゼンテーションをおこない、審査員と会場投票によって審査したうえで、採択されます。



▲平成22年におこなわれた公開審査会の様子

まちづくりびと支援

かりや夢ファンド

将来にわたり、刈谷のまちづくりを支える人材に対し、研修などの受講料や旅費などの経費を支援します。個人向けの支援制度です。

【公募の時期と審査方法】
前期：3月中旬～9月末、後期：10月～2月末にて、補助金申請を受付します。
研修受講前に申請書類を提出してもらいます。審査は提出書類に基づいて審議し、補助を決定します。

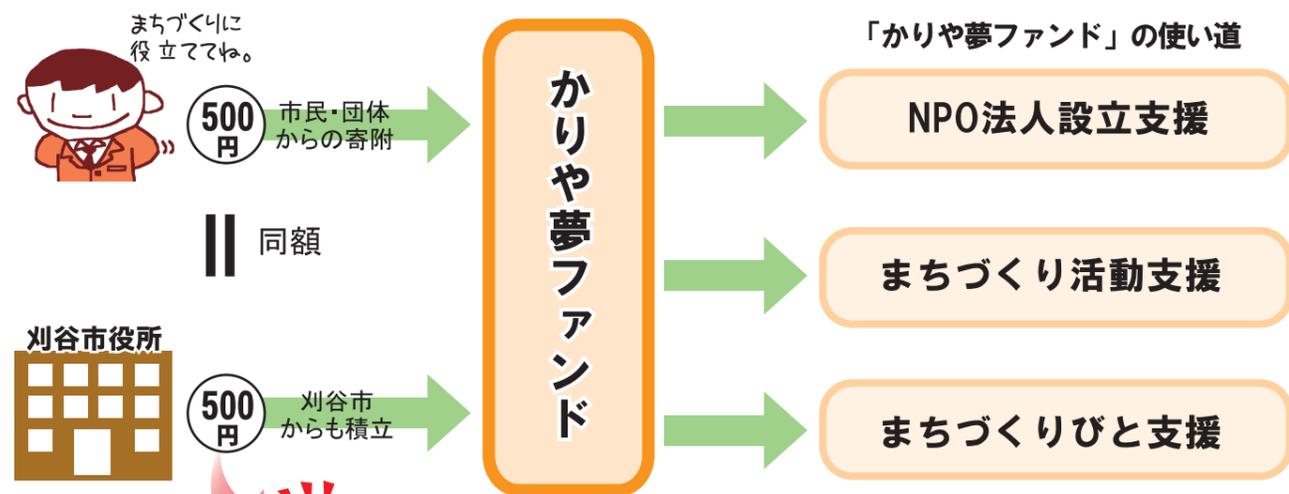
かりや夢ファンドのお話



2010年、刈谷市では市民活動団体を応援する基金「かりや夢ファンド」を創設しました。基金の財源はみんなの寄附から。個人、団体、企業を問わず、誰でも寄附することができます。その資金は、刈谷でまちづくりをがんばっている市民活動団体さんの活動に使われます。

ファンドのしくみ

かりや夢ファンド



かりや夢ファンドはマッチングギフト制度を導入！

マッチングギフトとは、市民や団体からの寄附金に対して、刈谷市も同額の寄附をおこなう制度です。皆さんの善意が2倍になります。

寄附金をお待ちしています！

「かりや夢ファンド」への寄附金をお待ちしています！寄附は1円からでも受け付けます（税金の優遇措置があります）。受付は刈谷市役所 市民協働課にて。平日夜や土曜・日曜は刈谷市民ボランティア活動支援センターでも受け付けています。

最近では、「誕生日の記念に役立つことをしたい」とか、「バレンタインのチョコの資金を寄附にまわそう」など、市民の意識も大きく変わってきました。

寄附というカタチで、まちづくりに参加してみませんか。



▲支援センターでは「かりや夢ファンド」の募金箱を設置しています。



「コラボ60」ってなあに？

「コラボ60」とは、刈谷市制60周年を記念しておこなった市民公募事業の通称です。①イベント、②まちづくりの2つのセクションで、事業を募集したところ、市民活動団体24団体、25件の応募がありました。選考のうえ19件の事業が採択され、「コラボ60」として1年間かけて、各事業がおこなわれました。

【実施期間】2010年4月1日～2011年3月31日

【実施企画】①イベント部門10事業 ②まちづくり部門9事業



市民の企画を市民が選ぶ！

コラボ60



◀「刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会」による第2次選考(公開プレゼンテーション)の様子。

【審査の基準】
○ 新しい刈谷の創造
○ 市民の参加と協働
○ 地域文化の継承と発展
上記の観点から厳正な審査がおこなわれました。

採択団体

コラボ60

【イベント部門】

- ☆NPO法人パンドラの会 ☆刈谷市赤十字奉仕団 ☆か・り・や おかみさん会 ☆刈谷市婦人会連絡協議会 ☆刈谷地区心身障害児者を守る会 ☆刈谷市民管弦楽団 ☆「語り部劇団」刈谷文化協会演劇部会 ☆刈谷文化協会 口承文学部 ☆刈谷市民謡愛好会 ☆(社)刈谷青年会議所

【まちづくり部門】

- ☆逢妻川を愛する会 ☆げんきサポーターコラボ60実行委員会 ☆刈谷市刈谷駅前商店街振興組合 ☆中部・東部地区住民まちづくり協議会 ☆助っ人クラブ中部 ☆虹の会 ☆かりやなび ☆NPO法人かえるスポーツクラブ ☆(社)刈谷青年会議所

「コラボ60」がきっかけで生まれた協働。次ページから、その事例集を紹介します。➡



こらぼレポ事例①

分野のちがう団体が 同じ目標にむかって協働！

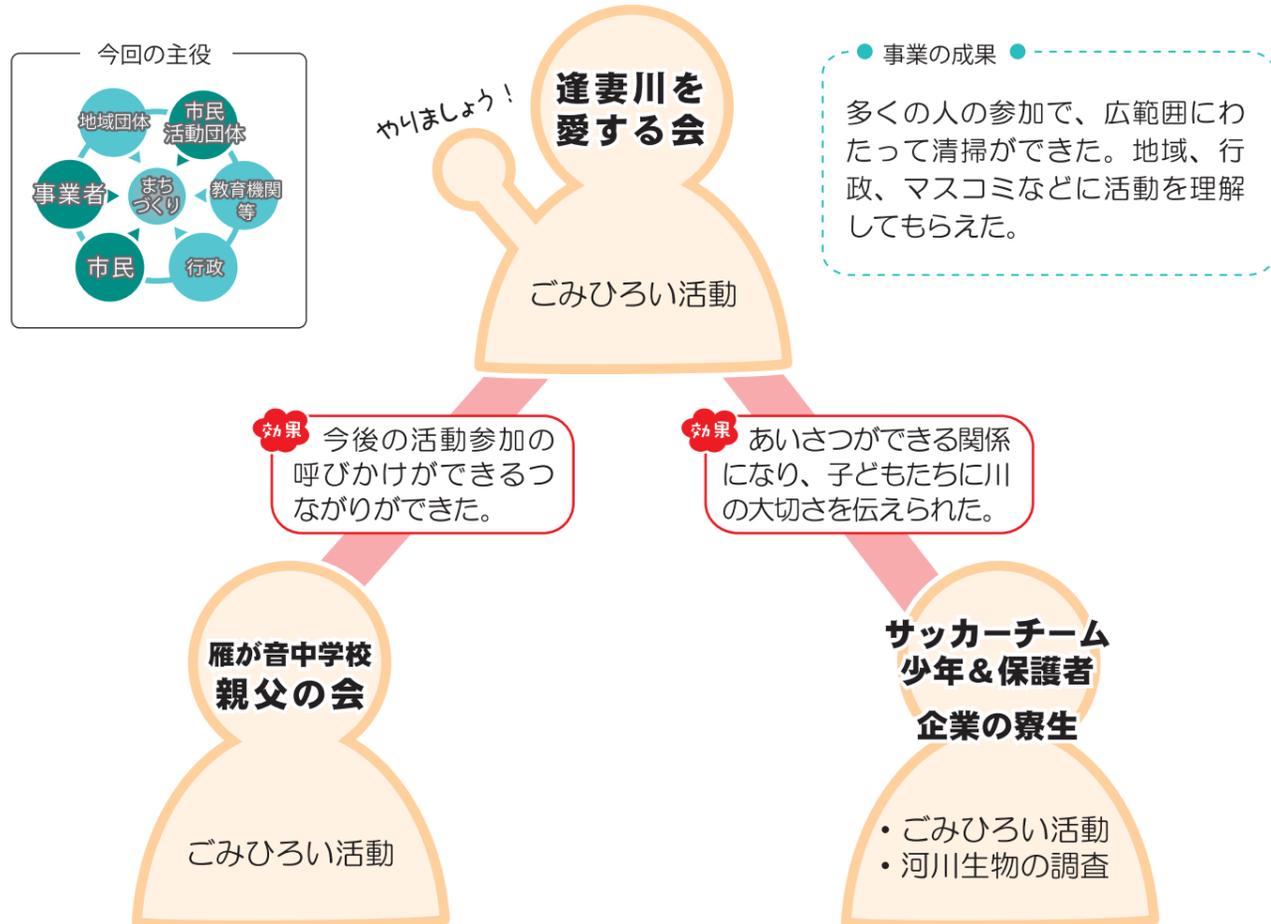


- 事業名:「逢妻川に係る市内流域地区で一斉ごみゼロ活動でモデル河川にしよう!」
- 団体名:逢妻川を愛する会
- 協働相手:雁が音中学校 親父の会、地域少年サッカーチーム & 保護者

●事業内容:刈谷市内を流れる逢妻川の清掃活動をおこなっている「逢妻川を愛する会」が、逢妻川流域のさまざまな団体に呼びかけてクリーンアップ大作戦を実施。



各協働相手の役割と成果



こらぼレポ事例⑥

お付き合いのある団体と ミッションを共有

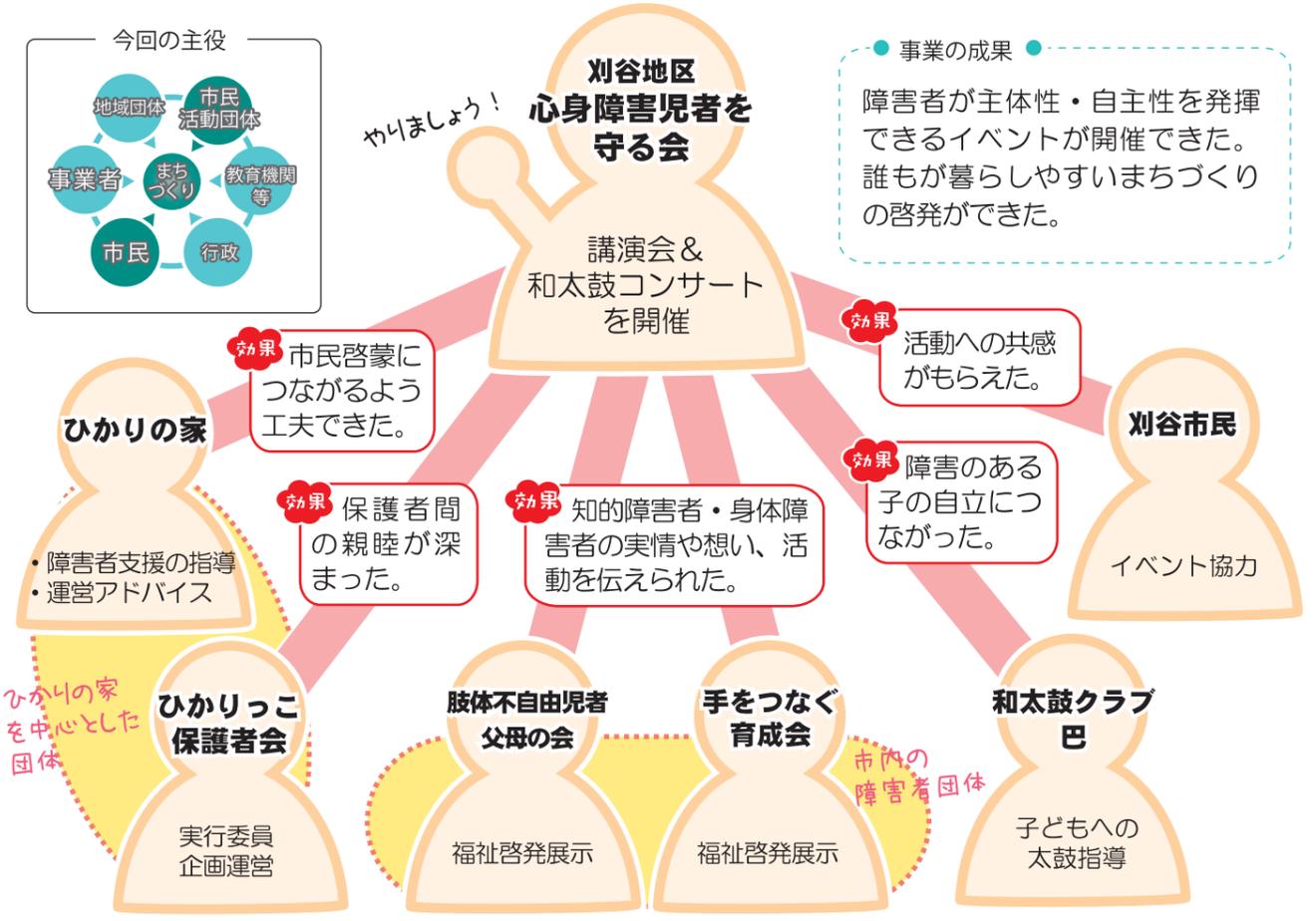


- 事業名:ひかりかがやけイベント 講演会&コンサート
- 団体名:刈谷地区心身障害児者を守る会
- 協働相手:(社福)ひかりの家、ひかりっこ保護者会、和太鼓クラブ巴、刈谷手をつなぐ育成会、刈谷市肢体不自由児者父母の会(はげみ会)、刈谷市民

●事業内容:障害者福祉の啓発・理解のため講演会と和太鼓コンサートを開催。障害者自立の実践活動として和太鼓指導を受け、コンサートは成果発表の場となった。



各協働相手の役割と成果





こらぼレポ事例⑤

地域ぐるみの協働。 地区のNPOや商店がまちづくり参加

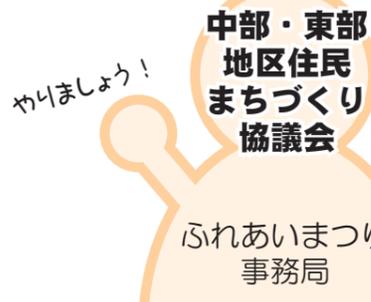
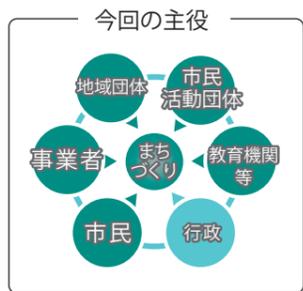
- 事業名:福祉のまちづくり事業 人・まち・笑顔のふれあいまつり
- 団体名:中部・東部地区住民まちづくり協議会
- 協働相手:ふれあい広場幸、助っ人クラブ中部、我がまちの縁側、榊原医院、市川商事、生命の貯蓄体操普及会、なごやか会、老人会、婦人会、子ども会



●事業内容:「高齢者・子ども・女性が安心して生活できるまち」をめざし、高齢者福祉の団体や事業所とともに、地域住民交流のイベントを開催。



各協働相手の役割と成果



●事業の成果●

各協働団体と企画から関わって開催できたので、団体同士の交流につながり、今後のまちづくりの基盤ができた。

効果 地域の団体の特徴を活かし、充実した催しが提供できた。



こらぼレポ事例②

持ち味を活かした 役割分担でイベントを開催!

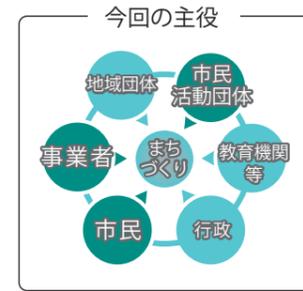
- 事業名:「みんなでコラボ&パンドラ10」
- 団体名:特定非営利活動法人パンドラの会
- 協働相手:刈谷市民、刈谷市内の福祉事業所、刈谷市内の企業



●事業内容:「おかし工房パンドラ」を舞台にした演劇を上演。劇にあわせて市内の障害者福祉事業所と地域企業の活動を紹介する福祉展も開催。



各協働相手の役割と成果



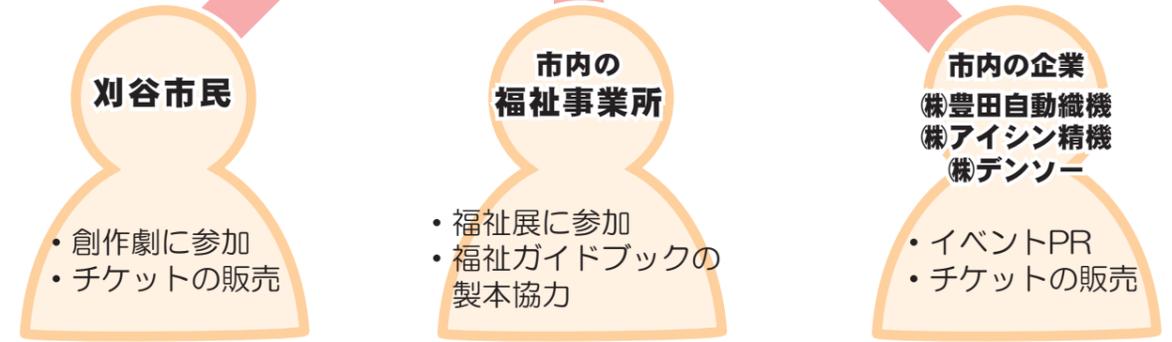
●事業の成果●

障害者の持つ能力、大きな可能性を新たに発見し、多くの方と共有できた。

効果 感動を共に味わい、活動への共感がもたらえた。

効果 市内NPOの連携が一層強くなった。

効果 PR効果の大きさとともに、活動への理解が得られた。





こらぼレポ事例③

専門知識を持つ相手と協働し、内容を充実！

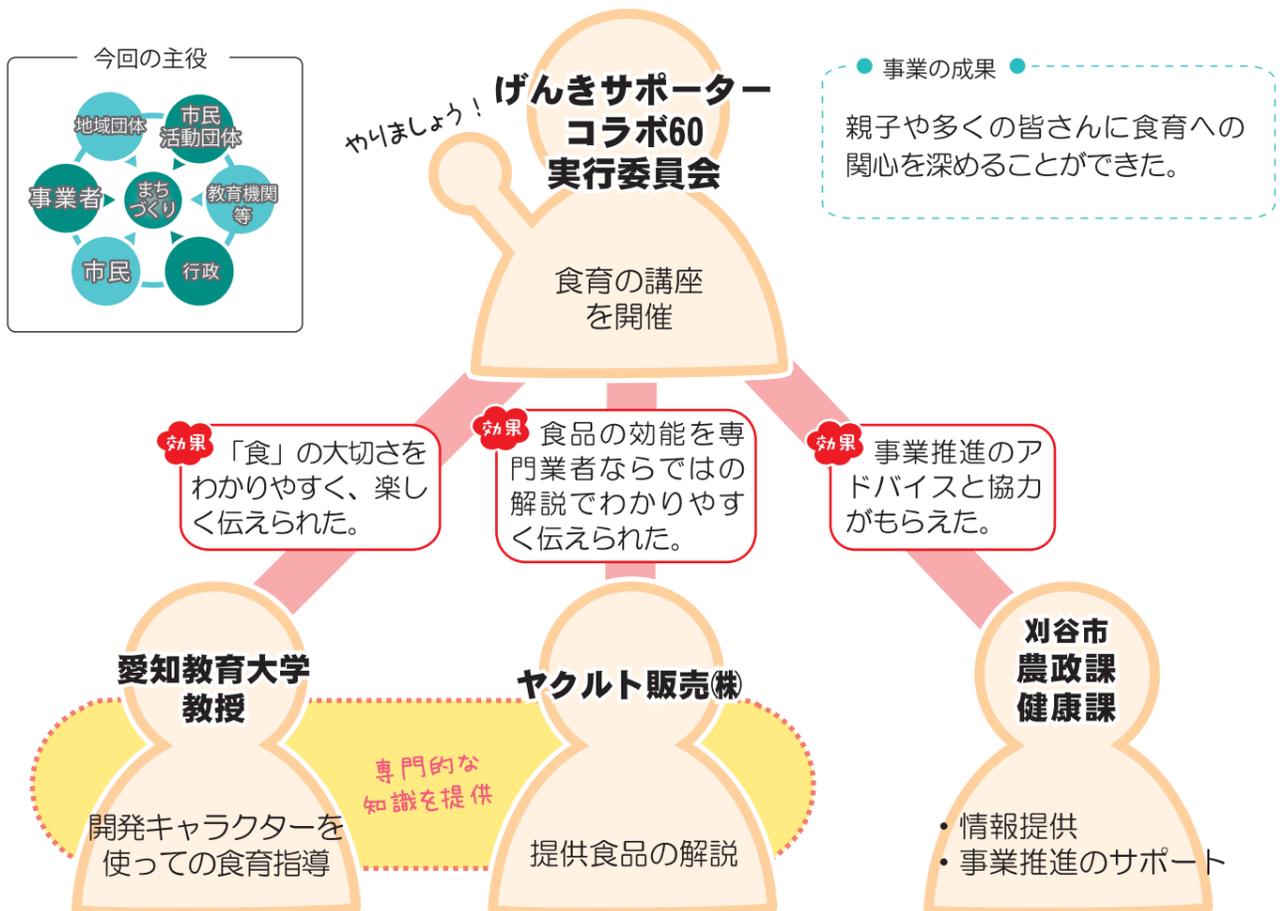


- 事業名:「食まるファイブ」と一緒にバランスのよい食生活をしましょう!
- 団体名:げんきサポーターコロボ60実行委員会
- 協働相手:愛知教育大学教授、刈谷市役所 農政課・健康課、愛知中央ヤクルト販売(株)

●事業内容:「食まるファイブ」という食育キャラクターを使い、生活習慣病予防の知識を楽しく学びながら、料理実習を4回開催。



各協働相手の役割と成果



こらぼレポ事例④

災害時には協働が必須。日頃からのネットワークづくり！



- 事業名:赤十字ハートフェスティバル
- 団体名:刈谷市赤十字奉仕団
- 協働相手:刈谷市自治連合会・刈谷市婦人会連絡協議会、刈谷市健康づくり食生活改善協議会、刈谷手話サークル・要約筆記かきつばた、日本赤十字社愛知県支部・三河赤十字救急奉仕団、亀城ハーモニー、プレジャー企画

●事業内容:「献血と寄附」のイメージだけでなく、災害時にも活躍するなど多方面の赤十字社の活動を知ってもらうために講演会と体験コーナーを開催。



各協働相手の役割と成果

